



さんにとちだより

荒川区立第三日暮里小学校
発行日 令和4年9月1日
発行者 校長 末永 寿宣

9月号

学校目標
考える子
たくましい子
思いやりの
ある子

三日小の「学びを止めない」挑戦

～新型コロナウイルス感染症を予防しながら、子どもたちのために最善を尽くします～
校長 末永 寿宣

学校は、本日、新学期を迎えました。子どもたちは1学期と同様に元気にスタートしました。未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、制約される中、マスクを付けて健気に生活している子どもたちの姿に勇気づけられています。熱中症予防とのバランスを保ちながら、子どもたちのために最善を尽くしてまいります。以下7月・8月に活動した内容を振り返ります。

○7月1日「Sota 君でプログラミング」



▲AIロボットのSota君は子どもたちによりプログラミングされ、スクール安全ステーションに設置されています。

○7月2日「七夕集会」



▲3年ぶりに開催された七夕集会では、願い事を短冊に書き、振り返りを発表しました。

○7月5日「リサイクルセンター見学」



▲清掃体験車「みえるん」を見学し、ゴミの正しい出し方など、基本的なルールを確認しました。

○7月7日「荒川ふるさと文化館見学」



▲荒川区の人々が現在までどのような生活をしてきたか、文化や風俗を見学しました。

○7月7日「素盞雄神社見学・汐入公園」



▲南千住の素盞雄（すさのお）神社は、芭蕉が「奥の細道」への旅立ちの際に祈願したと言われています。

○7月11日「清里移動教室」



▲キャンプファイヤー、乗馬を体験など、忘れられない思い出となりました。

○7月14日「三日音頭の伝承」



▲6年生が、1年生～5年生へ三日音頭を教えに各教室を訪れました。三日小100周年記念に創作され、大切に受け継がれています。毎年地域主催の盆踊りで披露されます。来年度に向けて、今から準備しています。

○7月14日「都立高校生との交流会」



▲「東京都次世代リーダー育成道場」のプログラムでオーストラリアに留学している都立高校生との交流会を前に、接続テストが行われました。キャリア教育の意識を高めるため、6年生が9月21日に取り組みます。都立高校生も小学生と交流するのは初めてです。

○7月20日「一学期終業式」



▲全校生を代表し、2年生が振り返りのスピーチを立派にやり遂げました。本校では、行事のたびに児童が原稿を見ずに、スピーチすることになっています。その後、全員で校歌を合唱し、夏休みの約束を確認しました。

○7月30日「下田臨海学園」



▲初めての宿泊行事でしたが、海水にも慣れてきて、積極的に海で泳ぐことができました。休憩中の浜で遊びも楽しみました。

○7月21日～8月3日「三日ラジオ体操会」



▲三日ラジオ体操会が3年ぶりに開催されました。四丁目町会が中心となって5町会全ての方のおかげで、たくさん子どもたちが参加できました。朝、6時半から体操することで、よいリズムができ、充実した夏休みを送ることができます。

○8月6日「水風船投げ大会」



▲三日メンズ主催の水風船投げ大会が開かれました。お父さん方が用意してくださった水風船を思いっきり投げました。お手伝いを欠かさない三日の子どもたちは立派です。夏休みの楽しい思い出ができました。三日メンズの皆さん、ありがとうございました。

1学期、7月・8月の主な取り組みをご紹介しました。「学校の新しい生活」を安全に、より充実させるため、新型コロナウイルス感染症を予防しながら、「学びを止めない」ために最善を尽くします。

今後とも、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



詳しくは、
三日小HPへ